

# 道の駅くるめ 循環型おなか元気野菜



生ゴミを分別し出来るだけ水気を切る。処理機で1日ほどかけると粉末状の乾燥した堆肥になります。



1平米に対して1kgの割合で乾燥生ゴミを撒いていき、(その他、乾燥させた玉子の殻なども一緒に) すき込みます。ブルーシートを被せ2~3週間ほど微生物の動きを活性化させます。



その後シートを外すと微生物たちが表土に点々と白く現れて分解の合図を出してくれています。再度、耕運すると植え付け前の元気な土の出来上がりです。その他、筑後川の苧草なども譲り受けて土作りに活用しています。